



令和 6 年度利用者協議会全体会議 報告

こんにちは！
会長の川俣です！！

利用者協議会会長あいさつ 皆さんこんにちは。会長の川俣トモヤスと申します。いつもくららをご利用いただきありがとうございます。皆さまのご協力もあり、くらら開設からまもなく 20 年を迎えます。お礼を申し上げます。前会長の松本春美さんより引き継ぎまして、こどもや障がいに関連したことについても利用者の皆さまと一緒に考えていきたいと思います。今後 1 年間よろしくお願いします。



利用者協議会の事業報告・事業計画・役員等の紹介を行いました。交流会では、活動の中での課題について意見を交わしました。

登録者数：235 出席者数：125（委任状含む） 議事は賛成多数で可決されました。

◎利用者協議会役員（敬称略）

【会 長】川俣禎康（NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会）
（にじ色まつり実行委員会）

【副会長】戸田良訓（ファーマーズコネクト）

【副会長】松本真由美（TOCHICO 日和）

青山直人（とちぎテレワーク相談室）

稲生みどり（幸来橋の会 / KURA STAR VOICE）

氏家実菜子（栃木市子ども食堂ネットワーク）

鈴木直弥（栃木相続相談室）

中島美和（まちづくりネットワーク『つが』）

湯澤和貴（一般社団法人栃木青年会議所）

くららで話そ！

夏の活動報告！高校生と地域コミュニティ

高校生が企画・運営した大平南小学校での防災イベントと「なつこい高校生バンド選手権」の振り返り会を行います！一緒に活動した仲間と共に振り返ります。

日 時：8 月 26 日（月）18：30～20：00

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 1 階交流スペース

ゲスト：栗原杏奈さん（学生団体 Rainbow）

くららの SNS

講座レポート 令和 6 年度 協働のまちづくりセミナー第 1 回
高齢者がすみなれた地域で暮らし続けるために



Facebook



Twitter



Instagram



くららに来て、みんなで話そ！
参加無料・予約不要・お気軽に！

「くららで話そ！」

報告

第 321 回 私の第 2 の人生 6 月 17 日（月）18：30～20：00

ゲスト：小島正さん（音楽を楽しむ会）

2007 年に妻が他界し、体調を崩し心身が壊れてしまった。そんな時、たまたまオカリナ演奏を聴く機会があり、心が癒され自分を取り戻した。その経験から、オカリナを演奏するようになった。妻はピアノの先生だった。妻が僕に音楽を遺してくれた。2011 年東日本大震災が発生したとき、岩手県宮古市に行って炊き出しボランティアに参加した。同じ頃、「このまま日本にいたら自分がダメになってしまう。自分の取り巻く環境を変えたい」とアメリカに留学することを決めた。留学のきっかけになったのは、国際交流協会と交流のある友人と茶飲み話をしていた時に、たまたま留学プログラムの話を聞いたことだった。栃木市の姉妹都市であるエヴァンズビル市にある、南インディアナ大学で学べる特別なプログラムを使って留学した。大学では心理学専攻からはじめ、何回か専攻を変えたのち、最終的にアートを学んだ。絵画や立体作品、陶芸など様々なジャンルの作品づくりにチャレンジした。留学中には仲間に囲まれ、充実したキャンパスライフを過ごした。留學生活のなかで、自分の人生を楽しみたいという気持ちに変化していった。留學中も、現地の老人ホームで茶カリナ（茶器のようなオカリナ）を演奏したり、自分でつくった作品を展示した個展を開催するなど、どんなことにでもチャレンジした。現在は、小学校での読み聞かせボランティアや栃木市に住む外国人向け日本語教室のボランティア、本の執筆など様々な活動を行っている。



茶カリナを演奏する小島さん



助成金情報



公益財団法人 住友生命健康財団

スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

コミュニティスポーツを「地域において様々な人々が、楽しみながら参加・交流し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み」と捉え、応援します。

対象団体：日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体（法人格の有無は問わない）

助成額：【チャレンジコース】上限 50 万円【アドバンスコース】上限 300 万円

応募締切：2024 年 8 月 22 日（木）

問合せ：住友生命健康財団 TEL 03-5925-8660



一般社団法人 セブン-イレブン記念財団

環境市民活動助成

地域の環境問題を地域の市民が主体的に解決するために、さまざまな角度から支援し、市民主体の地域社会の実現を目指しています。

対象事業：ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動。市民が主体となっていく環境活動など。

対象団体：NPO 法人、一般社団法人、自治会・町内会含む任意団体

助成額：上限 ①30 万円 ②50 万円 ③100 万円 ④400 万円（助成の種類による）

応募締切：2024 年 10 月 13 日（①②）2024 年 10 月 31 日（③④）

問合せ：セブン-イレブン記念財団 TEL 03-6238-3872





登録団体からのお知らせ・イベント情報



ふらここ

こども食堂 ふらここ

美味しいごはんを一緒に食べながらゆっくりお過ごしください。子どもも大人も大歓迎！

日 時：8月7日（水）16：30～

場 所：栃木市万町 27-16

参加費：中学生以下 無料 大人 500 円

※2 日前までに予約をお願いします

内 容：美味しいコーヒーとお食事

高岩さんのウクレレ弾き語りとワークショップ

問合せ：ふらここ TEL 090-7739-8558

北蔵タッププロジェクト

スィンギンリズムの蔵の街タップライブ

蔵がライブハウスに!? タップの音色を間近で体感！

日 時：8月17日（土）①親子向け 13：30～

②一般向け 17：00～

場 所：小江戸ひろば北蔵

参加費：①親子ペア 3,000 円 ②一般前売 3,500 円

内 容：タップダンス+ギター・歌+ピアノの 3 人組「スィンギンリズム」のタップと生演奏

問合せ：北蔵タッププロジェクト

E-mail hapisute0515@gmail.com

邦楽教育を支援する箏の音会

邦楽の音色 チャリティコンサート

義務教育で使用するお箏や備品の修繕費として寄付するためのチャリティーコンサートです。

日 時：8月17日（土）14：00～

場 所：栃木商工会議所 1F ホール

参加費：2,000 円

演 奏：馬場千年、成田信人

馬場千年おこと教室生徒

夏休みおこと教室参加者

問合せ：邦楽教育を支援する箏の音会

E-mail senijyu@yahoo.co.jp

開運・幸来あかり委員会

語りと薩摩琵琶によるあかりの夕べ

うずま川行灯まつりの一環で行われます。

日 時：8月18日（日）17：00～18：00

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館

1 階大交流室

参加費：無料

演 目：「義経・船弁慶」～吉野の別れ

「祇園精舎」「壇ノ浦」「怪談」

出演者：語り／間中一代 薩摩琵琶／榎本百香

公益社団法人 日本児童青少年演劇協会

素劇 あとむの童話の森にて

夏休みの思い出に舞台鑑賞しませんか？

日 時：8月23日（金）18：30～

場 所：とちぎ岩下の新生姜ホール 小ホール

参加費：1,000 円

内 容：「三匹のくま」レフ・トルストイ

「猫の事務所」宮沢賢治

「お星さまと遊ぶ！」あにめいむ

問合せ：NPO 法人栃木おやこ劇場

TEL 0282-21-8776

栃木県民話の会連絡協議会

とちぎ県民話まつり

県内各地の民話語りの団体が一堂に会した民話の祭典です。

日 時：9月18日（水）10：00～15：00

場 所：宇都宮文化会館 小ホール

参加費：無料

内 容：とっくり爺さ／栃木語り部の会

根なし藤／おおひら民話の会あじさい

ほか計 21 団体

問合せ：栃木県民話の会連絡協議会

TEL 090-7185-5017

レポート 令和6年度 協働のまちづくりセミナー

高齢者がすみなれた地域で暮らし続けるために 7月19日（金）きららの杜とちぎ蔵の街楽習館



高齢者がすみなれた地域で暮らし続けられるように、住民主体の地域づくり活動が各地で進められています。地域の「支え合い」から協働について考える機会として、ご近所福祉クリエイターの酒井保さんにご講演いただきました。また、栃木市社会福祉協議会の菅沼裕子さんに栃木市内の事例を紹介いただきました。市民協働推進員（市役所職員）や社会貢献活動に取り組んでいる明治安田生命の皆さん、市民の皆さんが参加されました。

講演内容 高齢者の生活支援の制度やサービスは、支える側の視点でつくられている。支えられる側の視点で地域づくりを考えることが大切。自分でできないことはサービスや地域の人に支えてもらいながら、自分でできることを維持し続けられることが本当の意味での自立ではないか。そのうえで、地域の中で自分の役割があり、自分の居場所を感じられることは、健康でいるために重要なこと。社会とのつながりがなくなることは、運動機能の低下に直結する。外出自粛が続いたコロナ禍では介護認定率や認知症出現率が高まった。高齢者の健康を増進するためには、地域のサロンなどで参加者をお客様にせず、一人ひとりに役割をつくるなどの工夫をするといい。

事例紹介 今泉二丁目自治会では、以前からシニアクラブの活動が活発であったが、公民館などに定期的に集まれる機会は少なく、年に数回教養講座をおこなうのみだった。もっと地域の方が定期的に集まれる場が欲しいとの話があり、いずみの会の立ち上げにつながった。お互いの得意なことで支え合えるサロンになっている。

参加者の感想

業務でかわりが少ないジャンルのお話でありましたが、とても楽しいお話を聞きあつという間に時間が過ぎてしまいました。／良く理解できました。しかし、自分が高齢者ではないため、何をしてあげればいいのか、どんなサービスがあるのかが分からない。若い人が分からないのに、高齢者はわかるのかと思いました。退職し、時間ができたらサロンがあればぜひ通いたいと思います。／これからの時代は地域コミュニティ活動、ボランティア活動等人とのつながりが大切だということを再認識できた。／日々の仕事の中で地域の方とふれあえるように意識したいと思います。／社会参加、つながりがフレイル予防に重要だと思いました。母が独居のため、もっと電話で話をしたりして、健康状態を把握していきたいと思います。

とちぎ市民活動推進センターくらとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



※くららは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています

編集後記

今年の夏の暑さは凄まじいですね。私の家では扇風機が2台故障していたので、新調しました。新しい扇風機は、気温に合わせて自動で風量を調節する機能などもあり、おかげさまで快適な夏を過ごせています。早く秋よ来て〜〜。（大塚）

登録団体数：236団体

会員数：20,910名

（令和6年8月1日時点）